

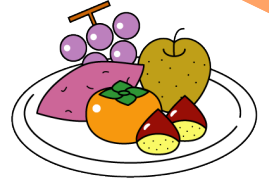
第5回

みらい

未来担い、手養成塾

活動報告書

とき 平成26年10月23日(木)18:30～
ところ エキパル倉吉 多目的ホール



<第5回内容>

第5回となる今回は、11月19日(水)に控えた政策発表会に向けて、前半にグループ協議&まとめ作業を、後半に途中経過の発表&質疑応答を行いました。

<途中経過発表&質疑応答>

各グループの途中経過について、口頭で発表したのち、塾長・副塾長はもちろん、塾生同士でも活発な質疑応答がなされました。

【Aグループ】「子育て世代を対象にした移住定住施策」

- ◆放課後児童クラブの拡充
- ◆学童保育を利用した学力の向上策
- ◆児童手当の拡充

《質疑》

- ・保育料や児童クラブ費用の多寡に関する具体的データは？
- ・学童保育での学習支援では、どういった学力感を志向するのか？ etc



【Bグループ】「景観を活かしたまちづくり+ONE」

- ◆“倉吉らしさ”とは何なのか
- ◆現在、成徳地区のみではほぼ完結している白壁土蔵群周辺の観光について、同じく歴史的な町並みの残る明倫地区の特徴を活かす施策

《質疑》

- ・なぜ明倫地区なのか？
- ・観光振興の施策なのか、明倫地区の振興施策なのか？ etc

<第5回を終えて>

11月に行われる政策発表会まで残すところ1ヶ月となりました。

第4回塾以降、各グループが独自で協議の場を設けたり、ネット環境を利用してのやりとりが進められてきました。まだまだ詰めなければならないことは多いのですが、それぞれの持ち味を活かした提案ができてきそうです。

次回は、政策発表会の1週間前に行われる模擬発表です。小野塾長からもあったように、『エッジの効いた説得力のある提案』を楽しみにしています。(事務局)

